

どんぐりの森^{もり}

地域に残る豊かな自然



けんどう み かめやまじんじゃ もり
県道から見た亀山神社の森

きのう、おばあちゃんと妹の安子とどんぐりを拾いに行きました。

どんぐりの木がたくさんありそうなかめやまじんじゃ

亀山神社に三人で向かいました。

長い石だんを登るとき、両側から大きな木の枝が

まるで深い森の中を行くようでした。

「ふうふう、はあー」石だんを登るときと、三人でいっしょに深呼吸を

しました。緑をいっぱい吸い込みました。

境内に着くと、さっそくどんぐりを拾いました。あっちにもこっちにも、丸いのや細長いのがいっぱいあ

りました。すぐに、袋がいっぱいになりました。

すると、おばあちゃんが、「一郎、安子、ちよつとこつちに来てごらん。」

と、大きな声で呼びました。行ってみると、腕をいっぴいに広げても

とどかないくらい太くて背の高い、とても大きな木がそびえています。

周りには、丸いどんぐりがいっぱい落ちていました。

「この木はね、イチイガシといって人間でいえば四百歳くらいなんだよ。すごいだろう。この森にはね。コバンモチやカンザブロウな

どめずらしい植物が百種類以上

もあるんだよ。今では、緑地

環境保全地域として広島県から

指定されていてね、木を痛めたり

切り倒したりしないようにみんな

でこの森を大切にしているんだよ。

一郎も安子も、今日はどんぐりが

いっぱい拾えて良かったね。」

と、おばあちゃんが話してくれまし

た。時々、みんなで遊びに来る亀山

神社だけど、昔からみんなが大切

にしてきたから、こんな立派な森が

残っているんだなと思ひ、どんぐり

のいっぱい入った袋を見ながら、

何だかうれしい気持ちになりました。

ぼくは、大きく深呼吸して、風

に吹かれて揺れている辺りの木々を

ゆつくりと見回しました。

なんだか、木々がザワザワと楽し

そうに笑っているような気がしまし

た。

(注)

① イチイガシ：温かい所で育ち、巨大なものは高さ三十メートル、直径二メートルになる。

② コバンモチ：高さ十五〜二十メートルになる。葉が餅や小判に似ている。

③ カンザブロウ：大きいものは十〜十五メートルになる。冬になると、実が熟し紫色になる。

④ 緑地環境保全地域：自然環境を大切にするために県が指定している地域のこと。亀山神社は、平成元年に指定された。



空高くそびえるイチイガシの木